

南箕輪村むらづくり委員会（第2回）会議録

令和5年9月12日（火）

午後7時～午後8時40分

出席報告【出席者 計29名】

<p>むらづくり委員会 (24名)</p>	<p>山岡 勉 委員 長谷川 義隆 委員 加藤 直樹 委員 高木 武 委員 唐木 茂人 委員 酒井 きよみ 委員 清水 真知子 委員 伊久間 美昭 委員 伊澤 武善 委員 清水 克俊 委員 吉澤 孝 委員 足立 芳夫 委員 田口 和弘 委員 小椋 信子 委員 菅家 美果 委員 平野 幸代 委員 千 菊夫 委員 富岡 順子 委員 橋場 麻衣子 委員 入倉 眞佐子 委員 松田 聖一 委員（遅刻参加） 稲生 正徳 委員 石坂 祐三 委員 吉川 つづり 委員 三澤 聡 委員</p>
<p>事務局（3名）</p>	<p>地域づくり推進課長 高橋 地域づくり推進課 企画係長 宮下 地域づくり推進課 企画係 清水</p>
<p>オブザーバー（2名）</p>	<p>株式会社プロジェクトデザイン 大槻 中央大学 細井（インターン生）</p>
<p>欠席者（4名）</p>	<p>北原 泰司 委員 唐澤 成江 委員 宮坂 大樹 委員 井口 千鶴 委員</p>

(会 議)

1. 開会 地域づくり推進課長

2. 会長あいさつ 足立会長

今日は各島（4～5人/1グループ）に分かれてご審議いただく。活発なご意見をいただきながら実のある会議にしたいので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 報告事項 足立会長より推薦、委員会にて承認

会長代理 入倉 眞佐子 氏

会長代理あいさつ 入倉眞佐子委員

会長代理として選任されたが、慣れないことばかりなので色々とお教えいただきたい。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 協議事項

① 村創生総合戦略（交付金事業）の検証について 会議資料 1-1・1-2 を事務局より説明

【質疑】

Q：千委員

会議資料 1-1 ページ 8 に、村創生総合戦略の数値目標の基準値が平成 25 年、KPI が令和 7 年とあり、中間がどうなっているか分からないが、これは何のために載せているのか、どういう風に見て思えば良いのかというのが一つ目の質問。二つ目の質問は、ページ 9 の指標で「お試し住宅利用者数」とあるが、令枝 2～4 年度目標数と実績値が累積値なのか、単年度の目標値なのか、教えていただきたい（ページ 10 の交流団体数も同様）

A：事務局

一つ目は、おっしゃる通り、これだけを見ても中間が見えない。今後、途中経過のわかるものを整備させていただきお示しする。本日はこの数値を基準に判断していただきたい。来月、再来月に総合戦略 KPI の検証をいただくが、大芝高原の利用者数は成果指標という位置付けで、活動指標となっていなかったため、飛ばしてしまっている。分かるように整理してお示しする。

二つ目は、単年度の実績。

また、大芝高原の利用者数について、令和 3 年度は 188,845 人であり、目標指数が 620,000 人であるためかなり割り込んでいる。この数値についても参考にさせていただきたい。

【検証作業】 グループに分かれて検証作業を実施（10 分間）

【各グループ発言】

Aグループ 千委員

率直な疑問として、PR を色々しているとのことだが、私自身そこまで広告を見る機会が無かったと思う。それは村民に対してというよりも、村外に対してこれらの PR を行ってきて、交流する人口が増えてきているというのであれば、事業として評価できると判断した。

Aグループ 菅家委員

過去3年間ずっとコロナ禍であったことを考慮すると、全体的に数字が少なめなところ、お試し住宅は善戦しているという印象。お試し移住拠点整備に利用している家族数が順調に伸びていて、実績も上がり、村の方でも相当程度効果があったと評価しているのはその通りだと思った。

Bグループ 橋場委員

外向けの制作と内向けの制作があって、どちら側に重きを置いていくのか。外向けの政策も、大芝とかこの村自体の認知に関してはまだ足りていないところがある、まだ課題があるのではと思った。

Bグループ 山岡委員

気になったのは、先ほど大芝の利用者数が出たが、基準値が平成25年度616,000人、令和7年度のKPIが620,000人と、ちょっと目標値としては数字が甘い気がする。4,000人しか増えてなく、率でも0.5~0.6%しか増えていない。これは数字が甘いからこそこれを伸ばすために、色々な施策やプロジェクトが出ている、そういう解釈で良いのか。また移住とかも書いてあるが、人口を増やしたいとか、そういうことに対してこれだけ国からの補助金をもらってやるのであれば、もう少しKPIとして厳しいものが必要じゃないのかなという気がする。

Cグループ 伊久間委員

根本的なことをお聞きするが、南箕輪村は毎年人口が増えていて、日本の中でもすごく人口が増えている村であり、そういう意味でも大変な状態であると思うが、村としてはもっと人口を増やしたいという希望はあるのかお聞きしたい。

事務局

人口については、増やしたいというよりは減らす時期を遅らせたいということが最大の目標としている。今は予想以上に人口が増えているのが現状。

足立会長

今回とは別に、今後検討いただく第6次総合計画と同じように、第5次総合計画でも10年間の人口目標を15,000人と立てたが、それを早々とクリアして、今も増えているというのが現状。委員さんがおっしゃったとおり、そこでひずみが生じているのも事実だと思うが、事務局から説明があったように、地方創生総合戦略では、いかに人口減少を少しでも遅らせるという事業であることをご理解いただければと思う。

Dグループ 富岡委員

村を外へ発信する取組みということで実施内容に書かれているが、村の外がどこなのか、どこをターゲットにしているのかをお聞きしたい。県内で実施して交流関係人口を通し、人をターゲットにしてやってきたのか、その県内の近いところで訪れる人を増やしたかったのか、結果的にどこの人口が増えたのかという点が気になる。それを踏まえ、関係人口の実績値79人とあるが、これはどこから計算して出しているのか。また個人的な感想として、都市部での農産物販売はフードマイレージ等もあるので、何か売る物を厳選することや、地産地消を目指し

ていく方に切り替えていく必要もあるのかなと感じた。

事務局

外向きの事業としては、アリオ上田や県内の冬の祭典の出店を行った。上田は新幹線や関越自動車道が整備されているため、首都圏からのお客様も非常に多く訪れるので、そういう意味では首都圏向けという形で狙いを置いた。まだコロナ禍ということもあったので、県内で実施した。

補足すると、新和田峠が無料化したので、上田に行きやすくなったということも加味したということは聞いている。

関係人口は、交流人口と定住人口の間とされていて定義も曖昧。ここの関係人口をどう考えるのかという点で、定住を考えているお試し住宅利用者の家族人数を挙げた。20 家族中 79 人来られたので、79 人とした。

Dグループ 富岡委員

私も関係人口を調べたが、「地域や地域の人々と多様に関わる人々、その土地に愛を持っている人」と書かれているので、もうちょっといらっしゃるのではないかという印象を受けた。

事務局

関係人口数を把握するのが難しい。増やしてはいきたいので、今後はそういう政策も考えていこうと思う。

Dグループ 加藤委員

質問ではないが、南箕輪村の人口を減らすのを遅くしたいという話があったが、今やっている事業が他の市町村に対してどういう優位性を持ってやっているのかというのを知りたい。例えば、伊那市など都市部から移住する人気が高いところがある。南箕輪村は大芝高原を軸にしているかもしれないが、(お試し住宅を) 建てるにあたって、南箕輪村の施策は何をポイントでやっているのかということ、比較できる内容があると良いという気がする。

事務局

移住に関して、例えば伊那市や辰野町は力を入れているが、過疎化地域があるので特に移住を売りにして行っていると思う。伊那市や箕輪町などは移住者に対する補助制度を手厚くしているとかを行っているが、南箕輪村では移住者に特化した特別なことはあまり行っていない。なぜなら、今いる村民を大切にしていくと、移住者の方たちが 10 年 20 年住んでいったときに、この村に住んでいてよかったと思えるような取組みが、村の人口減少を食い止めるという点でもよいのではないかと考えている。

Dグループ 清水克委員

2 点質問。ページ 11 の交付金の「拠点」「推進」とあるが、この意味を教えてくださいたいのが一点目。もう一点は、先ほどの質問とも関連するが、フェア出展とか商品販売について、東京のアンテナショップを活用するといったことは考えているのか、お聞きしたい。

事務局

ページ 11 の「観光とお試し移住整備計画」は、令和元年度の実績としてコテージを建てた部分の金額が 69,425,180 円というところが「拠点」にかかったもの。「推進」という部分に関しては、「大芝高原健康と癒しノオアシスプロジェクト」というのを 3 年間実施していて、こちらの交付金で使った金額を 2,147,200 円という形で書かせていただいた。

また東京に設置されているアンテナショップは、長野県が運営している「銀座NAGANO」で、南箕輪村も年に数回、移住促進、移住相談を受けながらの物産販売を行っている。ただ、これらは地方創生総合戦略の検証上の数字には、交付金を使った事業ではないため載ってこない。しかし、全く関係ないわけではなく、大芝のプリンを常時置いてもらって販売しているという実績がある。

Eグループ 入倉委員

お試し住宅の利用者がすごく増えているとのことだが、利用者の中で移住に繋がったかどうかなどの実績についてお聞きしたい。また、利用者アンケートを取った結果があるのか。利用から移住につながるということがよくアンケートで分かるので、(利用者の)意見も聞きたい。

Eグループ 酒井委員

大芝の湯の駐車場が狭いという意見をよく聞く。屋内競技場の方に停めないといけないということが多い。プリンを買いにいったけど駐車場がなくて買えなかったとか、せっかく良い施設があるのにその駐車場が無いと言われると寂しい。南箕輪村として、大芝高原の駐車場整備をしていくのかどうか、お聞きしたい。

事務局

まず、お試し住宅利用者で昨年度の20家族のうち、4家族が実際に移住に繋がった。移住は大きな決断なので、お試し住宅を利用してから半年から1年間ゆっくり悩んで、他のところと比べたりすることもあるので、今後伸びる可能性はある。また利用者アンケートは実施している。村の印象や不安な点など。不安なところでよく聞かれるのはゴミの分別。そして自治体のことをよく聞かれる。入れてもらえるのか、区費は高いのかなどが共通の不安の様子。

続いて大芝の湯の駐車場については、令和5年度に予算化しており、松枯れしているところなどもあり危険だということで、木を切って駐車場を広げる計画がすでに進んでいる。また経過をご報告できると思う。

Eグループ 酒井委員

移住について、期間は設けているのか。例えば1年とか2年とか。

事務局

とくには制限や期間はない。お試し住宅を試してからの期間ということで特段設けてはいないが、定期的に南箕輪村に転入してきたかどうかということはチェックしている。

Eグループ 唐木委員

村の人口が増えている原因は何故なのか、その考えを教えていただきたい。また、総合戦略に村の評価が書かれているが、これはどのように評価したのか。なぜなら、むらづくり委員会で評価するのは、総合戦略のKPI達成に有効であったのか、なかったのか、その総合戦略のKPIと村の評価のKPIらしきものの違いは、合致するものなのか。

事務局

南箕輪村の人口増加の理由は様々だが、とにかく転入者が多い。子どもも年間150人前後生まれ続けているところが大きな要因。転入者は、伊那市や箕輪町からの転入者が多い。推測も入るが、どこよりも早く子育て支援に手をだしたこと、福祉医療による子どもの医療費補助の対象年齢をどこよりも早く引き上げたこと、土地の値段が安く戸建て住宅を建てやすいというのも要因の一つと考える。周囲の農地をつぶして住宅がどんどん建っているのも、もう少しこ

の傾向が続くと感じている。

足立会長

村の評価について。いわゆる国からの交付金があり、これについて村の第三者機関で評価する必要がある。村ではこういう評価をしている、その理由や説明を受けて、むらづくり委員会として、4段階評価ではなく、総合戦略に有効だったかどうかの評価を行う。

Eグループ 唐木委員

村の事業評価は地方創生に相当する効果があったかは、村がアウトプットして、アウトカムを見せて、それを結果に評価すると考える。ただ、むらづくり委員会は、総合戦略のKPIに対して、この事業がどういう効果があったのか、どこに結び付くのがよくわからない。

事務局

総合戦略のKPIがあり、それに対して村で進めている地方創生事業に効果があったかどうかを検証いただきたいのですが、確かに先ほどご質問いただいたとおり、中間の実績値が入っていないため、総合戦略に対してどれだけ効果があったのか大変見えにくいというご指摘のとおりです。次回の会議で、総合戦略のKPIについてしっかり担当課からお話を聞いていただく機会を設けるので、その時にご確認いただきたい。

Dグループ 富岡委員

お試し住宅は、村の移住サイトで見ると家族用に1人2,000円で泊まれるということと、普通の予約サイトだと44,000円からという感じで予約できるようになっているが、予約の枠が、移住家族を優先にして予約ができるようになっているシステムなのか。また、冬場の利用状況は、観光客も含めてどのくらいなのかお聞きしたい。

事務局

予約については特に移住者の方を優先的に予約で受け付けているというわけではない。冬場の利用状況については、確認した上で回答させていただく。

Bグループ 長谷川委員

このお試し住宅は2棟のうち1棟のみ受け付けているようにしか見えない。予約サイトもいつも1棟しか出していない。

事務局

予約自体は管理事務所などで受け付けているはず。確認する。

足立会長

他によろしいか。

それでは、会議資料1-2に戻っていただき、むらづくり委員会としての評価を各項目ごとに決めていただきたい。

【検討結果】

- (1) 南箕輪の「輪」拡大プロジェクト～人・モノの好循環を目指して～ →【有効であった】
- (2) 生涯活躍いきいき交流拠点整備計画 →【有効であった】
- (3) 観光お試し移住拠点整備計画 →【有効であった】
- (4) 南箕輪村の新商品開発拠点整備計画 →【有効であった】

② その他

(1) 村創生総合戦略の検証 **事務局より説明**

(2) 次回会議日程について **事務局より説明**

第3回南箕輪村むらづくり委員会 10月31日(火)午後7時から

第4回南箕輪村むらづくり委員会 11月14日(火)午後7時から

(3) 「カードゲーム SDGs de 地方創生」ワークショップ 12月23日(土)実施

5. その他 **事務局より連絡事項**

6. 閉会 **地域づくり推進課長**